

OECD 東北スクール・最近の動き

▶2012年11月10日、文部科学省が主催する生涯学習ネットワークフォーラム・福島分科会が福島市で開催されました。「OECD東北スクール」について、スタッフから報告され、全国から集まった参加者から様々な質問をいただきました。



▶11月19日、OECD日本政府代表部吉川元偉大使が福島大学を表敬訪問され、OECD東北スクールスタッフと懇談されました。また、その後いわき市の津波被災地を視察し、OECD東北スクール・いわき市チームと交流しました。イベントについて様々なアドバイスをいただきました。



▶12月25日、東日本の被災者支援と東京オリンピック招致を目的としたチャリティイベント Cheer! NIPPON に、OECD東北スクールが招待され、60人あまりの生徒が参加しました。ア

スリートとの懇談会もセッティングされ、当初予定になかった王監督や川淵会長も飛び入り参加し、様々なアドバイスをいただきました。また、なでしこジャパンやJリーグの選手の皆さんにたくさんのチャリティグッズをご寄贈いただきました。これらの品々はオークションにかけられ、プロジェクトの資金として活用させていただきます。



▶12月26日、チーム〈環〉として初陣となる、ユニクロ/ファーストリテイリング本社にて、プロジェクトのプレゼンテーションを生徒たちが行いました。たいへんな好評をいただき、今後の協力関係に対して様々なアドバイスをいただきました。



▶12月31日ユニクロのプロジェクト Clothes for Smiles に応募しました。同プロジェクトは、同社ファンドを人材育成に活用



するためのアイデアを世界中から募集するというもので、最終日に応募したにもかかわらず、一般審査で739 アイディア中4位となる大健闘を見せました。2月末現在、一次審査にかけています。

▶2013年2月4日、OECD教育局次長兼事務総長教育顧問アンドレアス・シュライヒャー氏が福島を訪れました。伊達市チームを訪問し、JAと共同開発した果実のゼリーを手にとりて喜ばれ、「マーケットを調査して成功させるように」とアドバイスをいただきました。



またその後会津若松市に避難している大熊中チームを訪問し、これまでの経緯について報告を受け、それらを記録として残すように要請されました。

▶同日、福島大学にて「教育復興とイノベーション」というテーマで講演されました。世界が今どのような教育を必要としているのか、そしてそのような中で日本の教育に何が必要なのか、さらには復興教育におけるイノベーションの重要性が語られました。



▶第2回OECD東北スクールの終了後、ほぼ毎月ローカルリーダー会議と生徒たちの担当リーダー会を実施しています。ローカルリーダー会議では、運営組織や今後のプロジェクトの進行に関して、また様々なイベントについて協議されています。



また、生徒によるリーダー会議では、各ローカルチームの現状や「イベント担当」「産官学連携担当」「コミュニケーション担当」「セルフドキュメンタリー担当」それぞれの内容について進行状況や協力関係について話し合われています。



▶さらに、晩餐会の中で東北の復興教育を今後も注視していただけることを表明いただきました。

